

2 附属図書館の年間活動

1. 主要事業等の概要（平成23年度）

(1) 図書館活性化プロジェクトの実施

平成20年度から「図書館を元気に」という目的で開始された「図書館活性化プロジェクト事業」（別紙1）を平成23年度も実施した。

初年度から実施している「北海道教育大学附属図書館懸賞論文」は学生の読書意識及び創作意を刺激し、思考表現及びその文章作成能力を向上させる新たな試みとして小説部門を設けた。

(2) 北海道教育大学学術リポジトリについて

平成22年2月から公開している「北海道教育大学学術リポジトリ（HUE Repository）」は平成23年度末の登録数は2,210件となった。

(3) 中期目標・計画（図書館担当部分について）

平成22年度から実施されている本学「第Ⅱ期中期目標・計画」の図書館担当部分の平成23年度計画は、別紙2のとおり、具体的方策を実施した。また、図書館独自で実施した「第Ⅰ期中期目標・計画（平成16年度～平成21年度）」を附属図書館自己評価専門委員会でまとめた自己点検評価報告書を公開した。（<http://s-opac.sap.hokkyodai.ac.jp/library/jicotenken/jikotenken-2.pdf>）

2. 行事・会議等（平成23年度）

年 月 日	行 事 ・ 会 議 (会 場 等)	
平成23年4月21日	第1回紀要編集委員会（TV会議）	
平成23年4月21日	第43回国立大学図書館協会北海道地区協会総会（北海道大学）	
平成23年4月23日	第1回北海道地区大学図書館職員研究集会企画委員会（北海道大学）	
平成22年5月21日	第2回北海道地区大学図書館職員研究集会企画委員会（北海道大学）	
平成23年5月30日	第2回紀要編集委員会（TV会議）	
平成23年6月16日	第58回国立大学図書館協会総会（グランドプリンスホテル広島：広島大学）	
平成23年6月24日	第3回北海道地区大学図書館職員研究集会企画委員会（北海道大学）	
平成23年7月7-8日	第42回国立教育系大学図書館協議会研究部会（大阪教育大学）	
平成23年7月6日	第1回図書館運営委員会（TV会議）	
平成23年7月22日	第4回北海道地区大学図書館職員研究集会企画委員会（北海道大学）	
平成23年7月27- 8月4日	図書館実習生受入（北海道武蔵女子短期大学）	
平成23年8月19日	第54回北海道地区大学図書館職員研究集会（北海道教育大学札幌校）	
平成23年8月26日	第61回北海道地区大学図書館協議会総会（日本赤十字北海道看護大学）	
平成23年10月6日	第5回北海道地区大学図書館職員研究集会企画委員会（北海道大学）	
平成23年10月20-21日	第44回国立教育系大学図書館協議会総会（京都タワーホテル：京都教育大学）	
平成23年10月25日	第3回紀要編集委員会（TV会議）	
平成23年11月25日	図書館体験学習（附属札幌中学）	
平成23年12月1日	第4回紀要編集委員会（TV会議）	
平成23年12月21日	第2回図書館運営委員会（TV会議）	
平成24年2月1日	平成23年度附属図書館懸賞論文審査委員会（TV会議）	
平成24年1月20日	第1回北海道地区大学図書館職員研究集会企画委員会（札幌市立大学）	
平成24年3月9日	第2回北海道地区大学図書館職員研究集会企画委員会（札幌市立大学）	
平成24年2月28日	第4回北海道教育大学附属図書館懸賞論文優秀賞授与式（札幌校）	
平成24年3月5日	〃	（函館校）
平成24年3月16日	〃	（釧路校）
平成24年3月22日	〃	（旭川校）

◎ 平成23年度「図書館活性化プロジェクト」一覧

平成20年度から開始した「図書館活性化プロジェクト」は、図書館の活性化を図り、学生の図書館利用を促進することを目的として、毎年企画し実施しています。**New** は新規事業)

プロジェクト名	目的	内 容	実施期間	実施館
第4回附属図書館懸賞論文	学生自身による読書意欲・思考・表現の涵養	課題等：①図書館所蔵の図書を読み、小論文もしくは感想文(3,000字以上)を作成する ②短編小説(5,000字以上)を作成する 応募総数：47編 優秀賞：3編(賞状及び副賞：図書カード5万円分) 佳作：4編(賞状及び副賞：図書カード2万円分)	平成23年10月3日～ 平成24年1月9日	附属図書館
学生による選書ツアー	学生が読みたい本を直接書店で選書して推薦コメント等も作成し、図書館に対する興味と意識を高める	実施場所：紀伊國屋札幌駅前店、MARUZEN&ジュンク堂札幌店 参加人数：延べ36名(計6回実施) その他：一般に加えゼミ選書ツアーも開始。参加者は選書の推薦コメントを作成して、選書図書ともに展示する。	平成23年 11月～12月	札幌館
		実施場所：加藤栄好堂三原店、三省堂書店函館営業所川原店 参加人数：延べ12名(計2回実施) その他：参加者は選書の推薦コメントを作成して、選書図書ともに展示する。	平成23年7月	函館館
		実施場所：MARUZEN&ジュンク堂旭川店 参加人数：延べ13名(計2回実施) その他：参加者は図書の推薦コメントを作成して、選書図書ともに展示する。	平成23年11月	旭川館
		実施場所：コーチャンフォー釧路店 参加人数：延べ17名(計3回実施) その他：参加者は図書の推薦コメントを作成して、選書図書ともに展示する。	平成23年11月	釧路館
		実施場所：MARUZEN&ジュンク堂札幌店 参加人数：7名(1回実施) その他：札幌館と合同開催。参加者は図書の推薦コメントを作成して、選書図書ともに展示する。	平成23年 12月	岩見沢館

読書指導の達人講座	学校図書館の利用方法及び読書指導に必要な実践的技術の修得機会を提供する	<p>実施場所：札幌館閲覧室内グループ視聴覚室 参加人数：延べ36名 内 容：学校図書館の利用方法，読み聞かせ，ブックトーク，アニメーション及びストーリーテリング等の読書指導実践内容のワークショップを，1回90分で計4回実施</p>	平成23年11月～12月	札幌館
<p>New 読書会</p>	読書への関心を呼び覚まし，個々の読書体験の共有の場となり，また更なる読書へのきっかけともなる活動を目指す。	<p>実施場所：札幌館閲覧室内グループ視聴覚室 参加人数：15名 内 容：取り上げた作品について，参加者の感想，意見，印象等の交換の場として，講師が整理やコメントを行いながら進行する。参加者同士が自由な意見を述べたり，読者として共有の話題を深めることができる。</p>	平成23年11月24日（木）	札幌館
ブックカフェ in ASAHIKAWA	本や図書館をより身近なものとして親しんでもらうため，学生ホールでカフェ形式により，講演及び各種イベントを実施	<p>実施場所：学生ホールフリースペース 参加人数：45名 内 容：「夜空を見上げて～星空の楽しみ方」（ナビゲータ関口朋彦准教授）</p>	平成23年12月	旭川館
<p>New 学生サポーター</p>	図書館利用促進に関する企画や運営補助，図書館サービスの改善アイデア等といったサポーター活動を通じ，図書館の学習支援の充実を目的とする。また，利用者との協働活動によるコミュニティの形成及び，参加者自らの図書館リテラシー能力，コミュニケーション能力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館改善のためのアドバイス ・学生の意見を取り入れた企画立案，運営及び広報補助 ・学生サポーターによる選書，選書本コーナー等の設置 ・ポスター，チラシ等の作成 ・論文（レポート）作成支援，文献検索支援，PC利用者補助者，ガイダンス補助者としての活動 ・学習支援の具体案の立案 		全館

★ 北海道教育大学第Ⅱ期中期目標・計画の図書館担当について

昨年度設定した第Ⅱ期中期目標・計画図書館担当は次のとおりである。

<p>第Ⅱ期北海道教育大学中期目標・計画(図書館担当箇所抜粋)</p> <p>I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標</p> <p>1 教育に関する目標</p> <p>(2)教育の実施体制等に関する目標</p> <p>③ 自学・自習環境を中心に教育環境を充実させる。</p> <p>○中期計画番号 12</p> <p>学生の自学・自習を推進するため、図書館の蔵書・学習環境等を整備し、学習支援の場としての図書館を充実させる。</p>
--

上記中期目標・中期計画のもとに、平成 23 年度年度計画および具体的方策を次のとおりとした。

<p>○平成23年度年度計画</p> <p>図書館学生サポーター制度を設け、図書館による学習支援を充実させる。</p> <p>○具体的方策</p> <p>図書館利用促進に関する企画や運営補助、学生の目でみた図書館サービスの改善アイデアの提案等を行う図書館学生サポーター制度を設けることにより学習支援の充実を図る。また、昨年度の施策に基づき各構成館で収書方針を定め、収書委員会で図書館に備え付ける図書を選定することにより学習支援の場としての図書館の充実を図る。</p>

平成23年度の年度計画の実施状況は以下のとおりである。

各構成館において、図書館学生サポーター制度を導入し、サポーター自らあるいは職員と協働で各種イベントの企画や活動を行った。それらの企画や活動に学生サポーターが関わることにより、学生の視点を反映させたイベントとなり、利用者である他の学生の関心を惹きつけ、図書館利用が促進されるなど、学習支援の充実が図られた。

図書館学生サポーターによる、「授業で使う文献の充実」、「MS Officeの入ったパソコンの貸出」、「館内の案内表示変更」、「館内持ち込みパソコンの電源用延長コード配備」等、学生の目でみた図書館サービスの改善アイデア案を実現することにより学習支援の充実が図られた。

各構成館で定めた収書方針に従い、収書委員会で図書館に備え付ける図書の選定・収集を行い、学習支援の場としての図書館の充実を図った。札幌館では「表象文化論」や「英語教材」などの特定テーマについての選書、函館館では各専攻及び幅広い分野からの選定、釧路館では釧路校で重視されている環境教育に役立つ図書を中心に選書するなど、各構成館で特色を持たせた選書が行われた。